

北九州市のさらなる学力向上のためにー平成29年度の調査結果からー

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果

小学校6年生	国語A			国語B			算数A		算数B		
	正答数	正答率		正答数	正答率		正答数	正答率	正答数	正答率	
H29 年度本市平均	11.0 / 15 問	74%		5.1 / 9 問	57%		11.6 / 15 問	77%	4.9 / 11 問	44%	
H29 年度全国平均	11.2 / 15 問	75%		5.2 / 9 問	58%		11.8 / 15 問	79%	5.1 / 11 問	46%	
全国平均に対する割合	98%			99%			98%		97%		
H28 年度本市平均	10.4 / 15 問	70%		5.6 / 10 問	56%		12.1 / 16 問	76%	5.8 / 13 問	45%	
H28 年度全国平均	10.9 / 15 問	73%		5.8 / 10 問	58%		12.4 / 16 問	78%	6.1 / 13 問	47%	
全国平均に対する割合	96%			96%			98%		95%		
H27 年度本市平均	9.4 / 14 問	67%		5.6 / 9 問	62%		11.7 / 16 問	73%	5.7 / 13 問	44%	
H27 年度全国平均	9.8 / 14 問	70%		5.9 / 9 問	65%		12.0 / 16 問	75%	5.9 / 13 問	45%	
全国平均に対する割合	96%			95%			98%		97%		
H26 年度本市平均	10.4 / 15 問	69%		5.3 / 10 問	53%		13.0 / 17 問	76%	7.2 / 13 問	55%	
H26 年度全国平均	10.9 / 15 問	73%		5.5 / 10 問	56%		13.3 / 17 問	78%	7.6 / 13 問	58%	
全国平均に対する割合	95%			95%			98%		95%		
中学校3年生	国語A			国語B			数学A		数学B		
	正答数	正答率		正答数	正答率		正答数	正答率	正答数	正答率	
H29 年度本市平均	24.5 / 32 問	77%		6.3 / 9 問	70%		22.2 / 36 問	62%	6.8 / 15 問	45%	
H29 年度全国平均	24.8 / 32 問	77%		6.5 / 9 問	72%		23.3 / 36 問	65%	7.2 / 15 問	48%	
全国平均に対する割合	99%			98%			95%		94%		
H28 年度本市平均	24.3 / 33 問	74%		5.8 / 9 問	64%		21.2 / 36 問	59%	6.1 / 15 問	41%	
H28 年度全国平均	25.0 / 33 問	76%		6.0 / 9 問	67%		22.4 / 36 問	62%	6.6 / 15 問	44%	
全国平均に対する割合	97%			96%			95%		93%		
H27 年度本市平均	24.4 / 33 問	74%		5.7 / 9 問	63%		22.2 / 36 問	62%	5.7 / 15 問	38%	
H27 年度全国平均	25.0 / 33 問	76%		5.9 / 9 問	66%		23.2 / 36 問	64%	6.2 / 15 問	42%	
全国平均に対する割合	97%			96%			96%		91%		
H26 年度本市平均	24.7 / 32 問	77%		4.3 / 9 問	48%		22.5 / 36 問	62%	8.2 / 15 問	54%	
H26 年度全国平均	25.4 / 32 問	79%		4.6 / 9 問	51%		24.3 / 36 問	67%	9.0 / 15 問	60%	
全国平均に対する割合	97%			93%			93%		91%		

成果と課題（本年度の正答率に見られる顕著な状況）

【成果 1】国語A・B、算数(数学)A・Bの合計は、小中学校ともに改善傾向にある。 ※ 全国平均正答率を100%として比較

小学校 27年度 96% → 28年度 96% → 29年度 **98%**

中学校 27年度 95% → 28年度 96% → 29年度 **97%**

【成果 2】全国平均を上回る学校数が増加傾向にある。 ※ 国語、算数・数学の平均正答率の合計による比較

小学校 27年度 41校 → 28年度 38校 → 29年度 **46校**

中学校 27年度 13校 → 28年度 14校 → 29年度 **16校**

【成果 3】小学校国語、中学校国語は、全国平均に近づいている。

小学校 国語A 27年度 96% → 28年度 96% → 29年度 **98%**

国語B 27年度 95% → 28年度 96% → 29年度 **99%**

中学校 国語A 27年度 97% → 28年度 97% → 29年度 **99%**

国語B 27年度 96% → 28年度 96% → 29年度 **98%**

【課題 1】小学校算数Aは横ばい、算数Bは一進一退の状況である。

算数A 27年度 98% → 28年度 98% → 29年度 **98%**

算数B 27年度 97% → 28年度 95% → 29年度 **97%**

【課題 2】中学校数学Aは、一進一退の状況であり、数学Bは改善傾向であるが、依然として、低い状況が続いている。

数学A 27年度 96% → 28年度 95% → 29年度 **95%**

数学B 27年度 91% → 28年度 93% → 29年度 **94%**

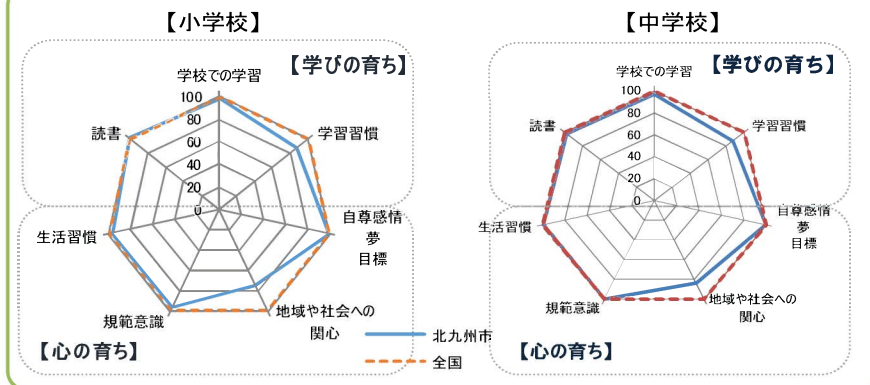
学習状況調査 学校・児童生徒質問紙結果

児童生徒質問紙から、「学びの育ち」と「心の育ち」に関係の深い質問項目を選び、子どもたちの質問に対する回答状況を数値化し、指標としています。

質問項目	
学びの育ち	家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。
	家で、学校の宿題をしていますか。
	学校の授業時間以外に、普段(月曜日～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。
	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか。
	「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。
	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。
	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
	授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。
心の育ち	学級での学習
	授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか。
	授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。
	授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。
	授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか。
	学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。
	学級の友達(生徒)との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか。
	読書
	読書は好きですか。
	朝食を毎日食べていますか。
心の育ち	生活習慣
	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。
	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)
	規範意識
	学校のきまり(規則)を守っていますか。
	地域や社会への関心
	今住んでいる地域の行事に参加していますか。
	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。
	自尊感情・夢・目標
	自分には、よいところがあると思いますか。
心の育ち	将来の夢や目標を持っていますか。
	人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



平成29年度 本市と全国との比較



「学びの育ち」について

＜学校での学習について＞

- 「授業のはじめに目標(めあて・ねらい)を示したり、授業の最後に学習内容の振り返りを行ったりする」活動が小中学校ともに全国平均を上回っている。授業改善に向けた取組が進んでいる。
- ◎ 今後は、「めあて」や「振り返り」の内容や話し合う活動の深まりに関する研修会を実施する等、授業の質の向上に向けた取組を進めていく必要がある。

＜学習習慣について＞

- 「学校の宿題をしていますか」については、小6、中3ともに全国平均と同程度となっているが、「自分で計画を立てて勉強をしていますか」については全国平均を下回っている。
- ◎ 今後は、「基礎・基本定着問題」を週末課題として配布する等、家庭学習の充実に向けた取組を一層進めていく必要がある。また、「家庭学習チャレンジハンドブック」「活用編」の活用を促す等、家庭との連携を図りながら取組を進めていく。

「心の育ち」について

＜自尊感情・夢・目標について＞

- 「自分には、よいところがある」については、H26年度の取組状況と比べると、小6、中3ともに肯定的な回答が増え、全国と同程度となっている。
- ◎ 今後は、学校・家庭・地域での様々な活動を通して、児童生徒が自己有用感を実感したり、達成感を味わうことができたりする機会を意図的・計画的に設定していく必要がある。

＜地域や社会への関心について＞

- 「地域や社会への関心」については、肯定的な回答の割合が、小6、中3ともに依然として全国平均を下回っている。
- ◎ 今後一層地域との連携を図っていく必要がある。地域の祭りや伝統行事、市民センターや公民館の行事等に進んで参加できる環境を整えるとともに、地域行事に参加している自覚も促していきたい。

北九州市 学力・体力向上アクションプラン（学力・体力向上）ー21世紀を生きる子どもたちのためにー 平成28年度～平成30年度

【柱1】全校体制でのPDCAサイクルの確立

- PDCAサイクルに基づく学校の組織的な取組の推進
 - ・各学校における全校体制の確立
 - ・学力調査等の実施と児童生徒への指導の充実
 - ・調査結果等に基づく「スクールプラン」の策定・実施・検証・改善
- 学力・体力向上策をつなぐ教育委員会の体制の確立
 - ・学力向上学校訪問の充実
 - ・学力向上講習会の充実
 - ・教育センター研修の充実
 - ・シンポジウム・懇談会等の開催
 - ・県外視察研修の実施
 - ・「北九州市学力向上だより」による情報提供

【柱2】指導力向上のための日々の継続的な取組

- よい授業イメージの共有と授業を「行う・見る・語り合う・振り返る」活動の日々継続的な実践
 - ・全員研修会及びコア・リーディング・アクティブラーニング推進校による授業公開及び成果物の活用
 - ・動画を活用したWebによる研修(せんせいチャンネル)の活用
 - ・リーフレット『『わかる授業』づくり5つのポイント』及び授業改善シートの活用
 - ・「教師のしおり」の活用
 - ・学力向上推進教員の配置・派遣、評価問題(単元末テスト等)の改善・充実
 - ・校内研修(「わかる授業」の基礎・基本マネジメント研修等)の改善・充実
 - ・教育研究論文の部門等の見直し
- 教育活動の一層の充実のための取組の推進
 - ・学校図書館教育の充実
 - ・ICTの活用と英語教育の充実

北九州市子どもの未来をひらく教育プラン

【柱3】学力定着に向けた協働的な取組

- 児童生徒一人一人へのきめ細かな教育の確立
 - ・学力定着のための学校独自の取組の支援(学力定着サポートシステム)
 - ・学校との連携等による子どもひまわり学習塾の充実
 - ・指導方法工夫改善加配教員等の効果的活用のための工夫
- 学力向上につながる家庭・地域との連携
 - ・家庭学習の指導の充実
 - ・乳幼児期からの望ましい生活習慣づくりなど学びの基盤づくりの取組
- 確かな学力を育む校種間の連携
 - ・小中連携の充実
 - ・幼小小連携の充実

本市作成資料

「北九州スタンダードカリキュラム」・「授業改善ハンドブック」・「指導と評価ハンドブック」・「家庭学習チャレンジハンドブック」・「WEB問題(チャレンジシート)」・「活用する力を高めるワーク」・「音読暗唱ブックひまわり」・「英語大好き音読暗唱BOOK Rainbow」・「人権教育教材集『新版 いのち』」・「北九州道徳郷土資料」